

まき兼用石油ふろがまから出火

事故の概要

【事例①】鉄筋2階建て住宅から出火して全焼し、車3台を焼いた。

【事例②】木造2階建て住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。

【事例③】木造2階建て住宅から出火して全焼し、手などにやけどを負った。

事故の原因

【事例①】長いまきを使用してふたを閉めなかったため、火が周囲に積まれたまきに燃え移ったものです。

【事例②】使用済みのまきの燃えカスを袋に入れていたら袋から出火し、周囲の可燃物に燃え移ったものです。

【事例③】ふろがまの焚き口付近に可燃物を放置していたため、ふろがま内の火が燃え移ったものです。



まき兼用ふろがまの近くに
枯れ葉を置いた再現実験



事故防止のために

- ◆まきは、焚き口に適した長さのものを使い、必ずふたを閉めて火がこぼれ出ないようにしてください。
- ◆使用済みのまきは完全に消火しているかどうか確認してください。再燃したり、灰の中の残り火が可燃物に燃え移ることがあります。
- ◆周辺に可燃物を置かないでください。

